

湘南 **にのみや**

議会だより

樹齡300年を越す見事な“臥龍梅”
—徳富蘇峰ゆかりの蘇峰堂にて—

平成21年12月定例会 12/4~12/11

- ◆臨時会 議会放映はテレビで
職員^の期末手当減額条例…………… 2 P
- ◆補正予算 新型インフルエンザ対策ほか…………… 4 P
- ◆常任委員会の視察報告…………… 6 P
- ◆一般質問で9名が町政をただす …………… 7~11P
- ◆2010年 私の抱負…………… 12・13P

3月定例会のお知らせ

2月26日（金）から開会の予定
本会議・委員会の傍聴できます—お気軽にどうぞ—

第2回

臨時会

11月25日開催

一般会計補正予算

議会中継は6月に開始予定！

議会テレビ放映準備経費として平成22年3月議会でケーブルテレビの試験放送を二日間行う委託料8万4千円と、議場照明改修工事費230万円を予備費で対応するもの。

・主な質疑・

問 議会ではインターネットで放映と要望したが。

答 経費の面でテレビの方が安い。設備をしてお

けばネット放映に変えるのはいつでも可能だ。

問 テレビとインターネットとの経費の比較は。

答 年間の放映日数を15日とした場合、テレビ放映だと126万円で、インターネットは368万円になる。

問 インターネットに移行の考えは。

答 試験的な運用をしながら、社会情勢など検証し考えていきたい。問 議会の要望に対し、

どのように検討されたか。
答 町三役をはじめ幹部で随時審議し、テレビ放映に至った。
問 平塚・大磯も湘南ケーブルテレビを使っている。回線が二本で議会開催時期が同じになると考えられる。二宮と競合しないか。
答 放映内容も含め湘南ケーブルテレビと協議

し、合わせて近隣市町と調整しながら進める。反対討論として「議会放映が反対ではないが議会としてインターネットでの放映を要望した」賛成討論として「議会の要望とは異なるが、議会放映することに意義があり、テレビ放映に賛成する」があり、12対1で可決した。



本格放映は6月議会からご期待下さい！

条例の一部を改正

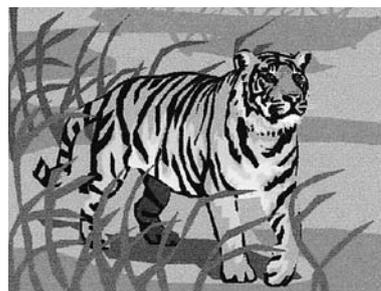
職員の給与に

関する条例

人事院の勧告に基づき国家公務員の期末手当の支給率が変更になり、町も国に準じて改正するもので、年間支給率100分の450を100分の415とするもの。

「民間の給与も下がっているが、この改正は職員的生活権を脅かす減額だ。反対する」

「職員の給与は県下でも低い、人事院勧告に準じたほうが町民の理解も得やすい。やむを得ないが賛成する」等の討論があり、委員会では5対1、本会議では11対2で可決した。



特別職の職員の給与に関する条例

職員と同様に期末手当の年間支給率を100分の35減額するもので、全会一致で可決した。

議会で決まったこと

職員の公益的法人等への 派遣等に関する条例制定

職員の公益的法人等への派遣を条例化するもので、これまでは、公益的法人（二宮町では社会福祉協議会のみ）とは職員交流の形で行われ、この条例の適用外であったが、社協内部充実のため、福祉に精通した職員を交流形態に係らず派遣できるようにするために条例の制定が必要になったもの。

全会一致で可決。

行政財産の目的外使用に係る使用料に関する条例制定

行政財産の目的外使用に対し使用料を徴収するもので、公共の土地や建物を、広告・自動販売機その他等で使用する場合は未整備だった使用料について、算定基準を明確化したもの。

全会一致で可決。



地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例改正

役場周辺を、市街化調整区域から市街化区域内都市計画を変更したことに伴い、3つのエリアに区分設定し、地区計画を定めるもの。

全会一致で可決。

職員定数条例の一部を改正

新たに施設等を集中管理する部署を設置するため、職員定数を変更する条例改正だが、部署の定数を変更するもので、総定数は変わらない内容。

全会一致で可決。

平成21年度土地改良事業 (中里地内) 農道改良工事 変更請負契約

農道整備による営農環境を改善し、生産性の向上と農業経営の安定化を図る目的で行う。

工業団地内から桜美園までの農道300m区間を施行中だが、更に25m延長することで、(有)横坂建設と変更請負随意契約するもの。

主な質疑は次のとおり。
問 単純計算で単価が上がっているのはなぜか。

答 勾配が強い区間になつているため。

問 補助金を返さないことで国との関係はどうなるか。

答 満額を執行することで了解がとれた。

問 設計金額は何を基準にしているか。

答 設計単価はそのまま請負率を計算して金額を出した。

全会一致で可決した。

人事

教育委員会委員に 井出真理子氏

教育委員会委員、能島榮之助氏の任期満了により、井出真理子氏を任命するために議会の同意を求めたもので、全会一致で同意した。

二宮在住で61歳。任期は4年。



町公共施設の一括管理が計画されているが？

補正予算

一般会計

今回の補正予算は特別職、職員の期末勤勉手当の減額による調整が主な内容で、全体では685万5千円の増額補正。

歳出の主な事業は、接種者の増により、高齢者インフルエンザ予防接種委託料95万5千円、町内予防接種委託料と医薬材料費の増で501万円、新型インフルエンザワクチン接種補助金438万1千円は非課税者、生活保護世帯への予算で対象者は約812人、剪定枝処理委託料240万円の増、「よるべ会」コスタ二宮一の送迎補助に3百万円、母子保健事業57万3千円が主な内容で、一方、予備費に1千617万8千円増額された。

「剪定枝委託料増額の理由は」「通所サービスの補助金の対象はコスタ二宮だけか」などの質疑があった。

反対討論は「職員の期末手当が平均約11万円の

カットは影響が大きすぎる」「給与の減額は心が痛むが、人事院の勧告もあり、やむを得ない措置だ」という賛成討論が行われ、11対2で可決された。

国民健康保険 特別会計

高額療養費が約3千万円増額になり、それに伴い国庫負担金、県補助金がそれぞれの負担割合で歳入された内容。

その他、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、下水道事業特別会計の補正予算も、職員の期末勤勉手当の減額による調整が主なもので、一般会計補正予算と同様に、特別4会計も11対2で可決された。



町も一生命取り組んでいる
新型インフルエンザ対策

城所議員が特別表彰



平成21年11月11日にNHKホールで開催された全国町村議会議長会創立60周年記念、第53回町村議会議長会全国大会記念式典において、城所議員が「特別表彰」を受けた。

この表彰は多年に亘り議会議員として、地方自治の発展に寄与された功績に対して贈られるもので、県下で8名の議員が対象となった。12月議会定例会初日の冒頭に議長より伝達された。城所議員は昭和53年11月に初当選以来8期連続当選を果たし、今年で議員活動が32年目となり、今後益々の活躍が期待される。

陳情は

どうなった？

元町八幡神社から富士見が丘一丁目に至る道の町道認定と、早急に整備に向けての陳情

趣旨採択

提出者は富士見が丘一丁目、二丁目の地区長と753名の方。

内容は該当道路の利用者が多くにもかかわらず、落石や土砂崩落の危険が頻繁に見られる。町道認定をして、安全確保のために早急に整備を求めるもの。

「地域住民の願いは強

く受け止めるが、町道規定に照らすと急斜面等の理由で町道認定は厳しい。しかし町は安全・安心確保第一に整備は進めていくべきだ」「町も危険回避のために防護壁等の措置は実施するとの前向きな姿勢が見られる」等の意見があり、全会一致で趣旨採択とした。

神奈川県への食品表示制度の改正を目指す意見書提出を求める陳情

趣旨採択

提出者は湘南生活クラブ生協コモンズなかくん。

内容は消費者が食品の安全を知る権利を守るために、原料のトレーサビリティと原産地表示の義務化を求めるもの。

賛成討論として「消費者が責任を持って食べるものを選ぶためには、確

かな表示が必要である」。

趣旨採択討論として「国は違法表示者に対して厳しい対処をしている。国際的に表示統一も考慮している過渡期なので、対応を見るべき」。

委員会では4対2、本会議では8対5で趣旨採択となった。



危険な元町八幡神社横の坂
早急な安全対策が求められる



早期診断が困難な細菌性髄膜炎の予防接種を

趣旨採択

提出者は神奈川県保健医協会。

内容は罹患しても早期診断が難しく死亡や後遺症が残る細菌性髄膜炎を予防するために、ヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンの定期接種化を早期に求めるもの。

賛成討論として「多くの子どもにも公平に接種させ、救済制度も確立させ

細菌性髄膜炎を予防するワクチンの早期定期予防接種化を求める国への意見書を求める陳情

るために、公的補助が早急に必要」。

趣旨採択として「親の費用負担軽減は考えるべきだが、日本における接種症例数が少ないため、定期接種化は慎重にすべき」という討論があり、委員会では4対2、本会議では10対3で趣旨採択となった。

常任委員会合同の視察報告

最重要に
子育て支援
事業

10月21日に長野県下諏訪町を訪問。下諏訪町は高齢化率26・7%とほぼ二宮町と同様の状況であり、町長の考えで「子どもは地域全体で育てよう」と子育て支援を重要施策と位置付け「子育て

支援カード」の実施を商工会との協働事業で始めた。子育て世帯への財政的支援がおもな目的。出生後に民生委員が自宅を訪問し、支援カードを手渡しすることで相談しやすい環境を作ったりするなど、きめ細やかな支援体制に関心した。また子育て支援センターも見学し、ブックスタートやファミリーサ

ポート事業について説明を受けた。今後、町でも、ぜひ参考にしたい。少子高齢化が進む町にとっては子育て支援は重要な課題だ。南口駅前の子育てサロンを建設中だが、商店街の中にサロンを作ることで、子育て世代への支援と同時に商店街の活性化も期待したい。



子育て応援に協賛している店舗にはこのステッカーが貼ってある

市民と協働で
行政改革

翌、22日は山梨県甲州市へ移動し、市の担当者より行政改革の取組みについて話しを聞いた。甲州市もまた人口減、少子高齢化での税収減と地方交付税の減額などに

よって市全体の事業の見直しを迫られた。主に市民と行政の協働による政策形成や、民間経営手法の導入などを行っており、目標を定め着実に行政改革に取り組んだことが、成果へとつながっていることが話の中から伺えた。つねに市民へ情報を公開し、声を受け止め、また職員の意識改革に努めてきたところは今後の二宮町でも取入れていく

必要があるだろう。また中央市の「道の駅とよとみ」に寄り視察。平成6年に国の補助金を得て農産物直売所を建設し、現在187の農家が登録して委員会を組織し運営している。現在、年間バス千台、約4万人の利用があり、農産物の売上げは年間2億3千万円。うち86%が農家へ支払われており、農業の活性化へとつながっていた。



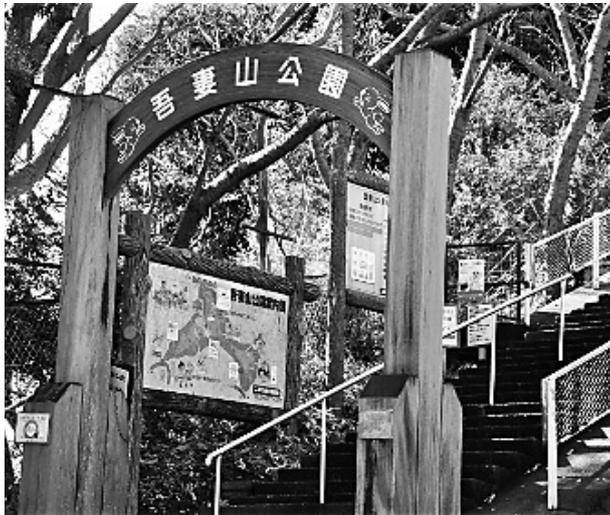
甲州市で行政改革の成果を真剣に学ぶ

宙の考えを問ひ

12月9日・10日の本会議では、傍聴者が見守る中、9名の議員が町民の身近な問題10件を行政側に質問した。

ここでは各人の質問要旨を掲載する。この記事は本人の原稿提出に基づいて掲載したもの。

一般質問



吾妻山公園は
大事な観光資源のひとつ

原 二宮町の人口は多少の増減は在るものの確実に減少し高齢化率も高まることが予想されている。定住人口を増やすことは出来ないが交流人口を増やすことが可能だ。25年後に人口が2万4千人台、高齢化率が25%となっても持続繁栄するには観光政策は重要と思う

が、町長は観光についての様な考えを持つのか。多くの効果を期待する町長 観光とは新たな産業の創造、雇用の創出、地域経済の活性化などが期待でき、現在のような菜の花の開花時期だけの吾妻山ではなく、四季折々の観光が楽しめる通

住宅都市から 観光先進都市へ

原 富士徳議員

年型・日帰り観光による消費の拡大をめざす。

原 二宮町でもそれなりの観光事業を行って来たが、その多くは一過性のイベント事業に近いもので、長期展望を持った観光施策とはほど遠いものと思われる。観光事業とはインフラの整備により住民には利便性の向上、観光客には滞在時間と行動範囲を広げることにより消費の拡大を促すことにつながる。周辺の整備と産業の再編を行うならば多くの施策を視野に入れた観光基本計画を持つべきではないか。

現状は県の計画を見て

都市経済部長 二宮町でも観光協会に検討委員会を設置し報告書が出されている。報告書を指針に行動に移して行きたい。

CO₂削減、低炭素社会の 実現に向けた取組みは

松木 義明議員



CO₂を減らそう！
電気自動車と充電設備の導入を

にどう取り組むのか。

電気自動車用充電器の 設置と太陽光発電補助

町長 住宅用太陽光発電補助については、財政がきびしい中であるが将来の地球のために普及を県と一緒に来年度も継続していきたい。

松木 社会は文明の発展とともに、その恩恵にあずかっている。電気・ガス・水道、外出には電車・バス・自動車、どれをとっても地球温暖化対策に係る。

そこで町は環境に優しい事業として平成22年度

環境部長 エコキュートについては、国の補助はあるが県に補助制度がないので現段階では、町としての補助制度は難しい。電気自動車については、神奈川県電気自動車普及推進策を県は策定し平成26年度までに県内3千

台の電気自動車の普及を目指しているが、町では財政状況等から来年度の購入は無理だ。しかし電気自動車の使用者が緊急充電を必要とするの時に町外からの人を含め役場に急速充電器を設置したい。県では東京電力の事業所、自治体に平成26年までに急速充電器を百カ所程度、千基200／100ボルトの充電ネットワークを構築をする取組みをしている。グリーン電力基金の活用については自然エネルギーの電気設備の普及を願う市民と電力会社の寄付で基金の活用を考える。



要援護者の福祉避難所対策が
早急に求められます

町長 兵庫県南部地震は、行政や防災関係機関の力に頼っては、自らの命と財産は守れないと言う教訓を与えてくれた。これを基に、一人の犠牲者も出さない様にしたい。

町民生活部長 要援護者の情報は共有方式を前提に機密保持の厳守方法を研究し実施する。支援マニュアルの作成は22年度を目途に行政が作成。温度差の解消は、地区長連絡協議会の協力のもと、自主防災と連絡を取って進めたい。収容施設もメゾン二宮など一燈会と協定を結んでいる。

池田 地震は突然起こるもので、自主防災の温度差解消に力を注いで欲しい。要援護者を円滑に収容できるように環境整備を更にするため、安全なまちづくりの推進を要望する。

町は大地震災害発生時の 防災対策の確立を急げ

池田 宏議員

池田 地震災害発生時の地区自主防災間に温度差がある。その原因は①安否確認に必要な要援護者のリストの作成が遅れている。国や日赤は関係機関共有方式を推奨している。②要援護者の支援マニュアルも自主防災にまかせているが、他の市町では行政が作成している。

地震発生に備えて、早急に要援護者避難支援リスト及びマニュアルを作成すべきではないか。また、非難拠点基地についても、要援護者は福祉避難所が必要ではないのか。町の対策を問う。

共有方式を導入し、 地区間温度差も解消

町長 兵庫県南部地震は、行政や防災関係機関の力に頼っては、自らの

一般質問

町長 町外在住の親族から相続した土地の町への寄付申し出があり、建物も建て頂くことで受入れを決定し、二宮町寄付取扱要項に則って行つた。そこには町出身の画家である二見氏の遺作を展示、保存し後世に残す為のホールにする。今はまだ不透明な部分が多く、明確には答えられない。

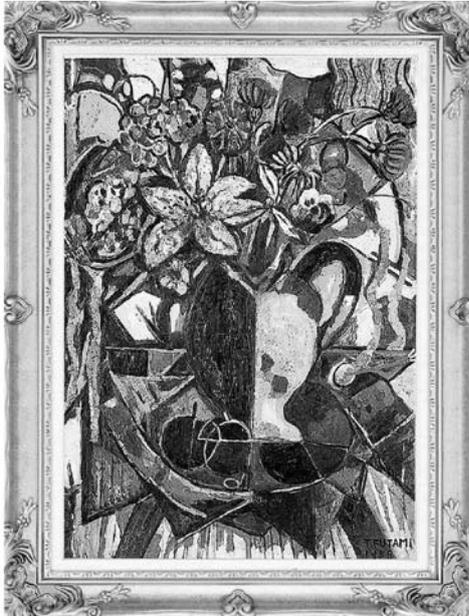
神保 具体的に説明できない事業が町の重要施設

町直営は決定ではない 財団委託の可能性も

神保 平成22年度予算編成方針案の資料が示された。個別の重点施策事業の教育・文化に「ふたみ記念ホール運営」とあるが、具体的な内容について担当課では把握していない。詳細を求める。

策となるのか理解できない。またいくら土地・建物が寄付であってもその後の維持管理費や人件費を考えれば、今の町の財政力では必要な事業とは考えられない。教育においてはこの3年間で学校教育費や図書費が約4億円近く減額されたにも関わらず、ホールが出来ればさらに負担がかかり、

現在の教育にも影響を及ぼすと予想される。今あるものを充実させることが重要かつ最優先課題。又、近い将来独居高齢者世帯が増えていくことが予想される中で、今後は土地の寄付受入れについては行政判断だけではなく、町民や議会に図ることが必要と考え要望する。



議長室に飾ってある
二見利節画伯の絵画

ふたみ記念ホールは必要か 教育予算への影響を懸念

神保 順子議員

生物多様性の調査生かし 自然と共生する町づくりを！

三橋 智子議員

三橋 生物多様性の調査を踏まえて、その保全に対する町の取り組みは。環境部長 平成14年制定の環境基本条例に基づき、基礎調査を実施した。専門家20名による研究会の調査結果では、予想外の多くの種が現存してお

り、学術的にまとめていく段階である。町の自然の特徴を理解し、今後の環境施策に役立てたいと思っている。

三橋 ビオトープネットワーク（生物の生息地を連携保全する）に対する考えはあるか。

環境保護は広域で連携

町長 さまざまな努力で町に自然が戻りつつあるのは観光施策の観点からも喜ばしいが、反面気候変動の影響もあり有害鳥獣が増え、農家が困っている例もある。環境保護やビオトープ保存も広域に進めなければならな



豊かな自然の恵みを
後世に残す努力に期待

「自然が売り」の町へ

町長 町内全部がビオトープという意識で、行政の方向性が決まっていれば、自ずと町全体に高まっていくと思う。自然が売りのまちづくりを今後もしていきたい。

いと考えるので近隣市町と連携をとりたい。

都市経済部長 せせらぎ公園で消毒を使わないとか、吾妻山の除草は手で行い生態系を壊さない等ビオトープ保存は意識的に心がけている。

三橋 町民や関係者が連携できる調整機関を作るべきだと考えるがどうか。

郵便投票を広く周知せよ 公園に健康遊具の設置を

鳥海 恭子議員

鳥海 今年8月と10月に2回の国政選挙があり、町広報の8月号に郵便投票ができること、視覚障がい1級、要介護度5の方が該当するが、周知の方法はどうしているのか。



健康遊具の利用で
医療費削減につなげよう！

内臓、下肢に障害の男性は「一票投じ政治に参加したい、障害者自立支援法をなくしたい！そんな思いを一票に託し初めて投票できた。この制度を知らせる努力を町に求めたい」と訴えていた。広く周知すべきだ。

今後は周知に努力

総務部長 認定されると選挙管理委員会から証明書を発行し、次回の選挙からも自宅投票ができる。証明書所持者18名、投票者は8名だった。今後、周知には努力する。
選管書記長 一人暮らしで役場に来られない人は

こちらから出向くことは可能。点字投票は郵便投票にはなく代理記載制度がある。

鳥海 公園に子どもたちの大好きなブランコが整備されるが、お年よりの健康遊具を設置できないか。健康維持は勿論、医療費の削減にもなる。狛江市ではお年よりが毎日楽しんで利用している。

H25年目途に検討する

町長 高齢化に向けた対応策として検討する。
都市経済部長 国の補助メニューで都市公園安全安心対策緊急総合対策支援事業を活用する予定。



防潮堤設置で津波対策OK？
景観はどうなる？

梅沢海岸へ延長90mの防潮堤 景観破壊だ、必要な計画か

小笠原 陶子議員

小笠原 10月の議会全員協議会にて、平成22年度予算編成方針が提示された。重点項目に梅沢海岸の整備(防潮堤の整備)がある。二宮漁港整備基本設計を作ったが19年9月の台風被害で一変し、南防波堤を作る計画は停止した。代わりに町は海岸背後地の整備と防潮堤計画を作る。

担当課の口頭説明だと、現在トイレのある地面の高さから1.2mから1.5mぐらいの堤防を梅沢海岸線沿いに設置する。①大波の防御になるのか。また景観が台無しになる整備を条件として駐車場の整備をすることは費用対効果が見込めるのか。

防潮堤は海岸近くの住民を守るため必要

町長 海に近いだが、法にそって建築し住んでいる。その人が災害に遭う可能性はある。景観も大事だが、命を守るほうが先である。

小笠原 計画完成後に地域住民に知らせるだけでなく、町民一万余帯に政策形成過程から伝えよ。

一般質問

町長 今の姿のまま、管理棟・トイレ・園路・遊具・小動物公園エリアの既存施設をリニューアルする。日帰り観光の拠点を目指して小動物園エリアは多機能性を持たせた休憩施設としたい。

根岸 吾妻山全体の環境保全はどうなのか。ほとんどが民地である。公園だけでも62人と借地契約し、100人以上いる地主の世代交代による影響等はないのか。また町長は、動く歩道について



平成22～25年度で
リニューアルされる吾妻山公園

バリアフリーで整備

根岸 吾妻山は、町のシンボルとして町民に愛されてきた。観光地としても注目されつつあるが、自然を残し今の姿で保全されるべきである。まず、今年度事業である公園部分11・2haの再整備基本計画について聞く。

環境は法的に最大規制

町長 地代と相続の関係で現状が維持されるだろう。環境は風致地区と市街化調整区域によって守られる。動く歩道は調査段階で、ランニングコース

トや傾斜など課題もある。
根岸 吾妻山憲章をつくってはどうか。
都市整備課長 17年作成の、みどりの基本計画の基本理念に明記されていることで充分と思う。
根岸 自然を守る、という認識は確認できた。動く歩道は大開発になる。違う検討をすべき。

吾妻山の整備は、現在の姿を残し、将来につなげて

根岸 ゆき子議員

20～30歳代が減少 町の将来からも対策が急務

城所 努議員

城所 決算資料による年代別比較の町民税額の平均は30歳代11万8千円、40歳代18万4千円、50歳代21万2千円、60歳代は14万円を収めていると報告されている。また、住民税を納める年代別人数は表の通りだが、20～30

課税人数の推計

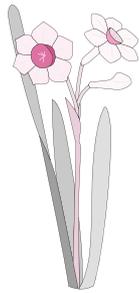
年代別	平成21年度		21年度と24年度の比較
	人数	人数	
20～29歳	1,673	1,478	-195人
30～39歳	2,552	2,309	-243人
40～49歳	2,631	2,919	+288人
50～59歳	2,479	2,074	-405人
60～69歳	2,692	3,009	+317人
課税人数	14,260	14,214	

住みたい町を目指す
町長 指摘どおりで緊張した取り組みが必要だ。若い世代のお母さん方との「ふれあいトーク」の中でも積極的な提案が出されるのでこれらも参考にしたい。今後、「住んでよかった、住みたい町」を目指し努力する。

アンケートを実施する

政策担当参事 この問題は「行政改革」の議論の中で委員から指摘を受けている。提案のあったアンケートも実施し諸計画に結びつけていきたい。
城所 町の将来がかかっている。問題意識をもった取り組みを強く求める。

歳代と50歳代が減少し、60歳代が大幅に増加して、納税の主役が60歳代に移ったことを示している。今後を考えると若い人達が定住する魅力ある町づくりが求められているが、町の認識はどうか。
子育て支援は勿論だが、若い世代の定住に対するの要求や意識調査などを実施する必要がある。



11月は二宮選挙

任期まで悔いのないよう 全力で行動します



私の抱負

皆さまにおかれましては、輝かしい新春をご家族お揃いで、ご健勝にてお迎えのことと心からお喜び申し上げます。本年も皆さま方のご指導、ご協力をいただき重責を全うしていく決意です。少子高齢化が進み財政厳しい年度になっても、将来の町づくりのため、議員一同一丸となって、平塚市、大磯町とのゴミ適正処理のための広域化復帰、教育、福祉、少子高齢化、環境、商工農業等に取り組んでいきます。また、議員各位の活動、活躍できる環境づくりに尽力していきます。本年十一月には、議会議員の改選ですので、残された任期を皆様方のご指導の下、全力で現状を把握し

て「安全で安心して暮らせる魅力ある町づくり」に取り組んでまいります。国では平成21年度、第2次補正予算に経済対策として12月8日、7兆2000億円が閣議決定されましたが、国債発行総額が過去最大の44兆円となり、税収を大きく上回ったのが気掛かりですが、地方、町の経済効果を期待するところでは、猛威を振った新型インフルエンザが終止することを願うものです。最後に町の繁栄と、皆さま方のご健勝と、ご多幸を祈念申し上げ、挨拶いたします。

副議長の責務を残された任期に自らの持ち得る限りの力を注ぎ、風通しの良い円滑な議会運営、議会活性化に力を注いで行きたい。ここ数年思うことは、議員個人の活動が強くなり議会全体の調整力が弱くなったように感ずる。勿論、議員は町民に付託されそれに基づき議員活動を行っているのは言うまでもないが、もともと町の為、町民の為に高所、大所に立ち、議会一体となり、執行者と大いに議論し町民に理解しやすい議会運営を心がけたい。経済が低迷し、二宮町にもこの波紋が拡がり財政状況の厳しい中、一層の行政執行手腕が求められるが、なりよりも「暮らし易い町づくり」の為、これまでに培ってきた経験を糧に、再考するべき点は早急に改善し、功を成したものは更に成果が産まれるよう取り組んでゆきたい。

早いもので、無我夢中の内に三年経ちました。人口の更なる減少も予測されるなか、町は広い視野で総合的に、若い世代などの定住性に焦点を置いて、取り組む必要があると思います。住み良いまち、安心・安全のまちづくりのため、誠心・誠意、力を尽くします。

教育福祉常任委員
(無所属) 中里一三二二



二宮町議会
議長
西山幹男議長

総務建設経済常任委員
(無所属) 山西六五



杉崎俊雄
副議長

総務建設経済常任委員長
(無所属) 二宮八三二



二見泰弘
議長

不況による景気後退により町財政は困窮しております。活力ある二宮を創造するため、町の歴史・文化・豊かな自然を活用し、また行政評価の取り組みを通じ、効率的な行政の確保をしなければならぬと思います。そして安全・安心・豊かな地域づくりに頑張ります。



池田 宏
議員

総務建設経済常任副委員長
(無所属) 二宮一二一一



小笠原陶子
議員

総務建設経済常任委員
(ネット・市民) 百倉が丘三二〇一〇

昨年は政権交代のために努力しましたが、世界的な不況の中で、デフレにあえぎ、暮らしは変わらず、厳しさが募ります。

子ども・年配者・障害者等弱い人へのしわ寄せをなくすための仕組みを作っていくたい。今年も改選、若い世代へとチェンジに頑張ります。



城所 努
議員

総務建設経済常任委員
(日本共産党) 山西二六

長い不況を脱しきれず、国保も一年間で約8千万円の滞納や生活保護世帯の増など、どの指標でも格差と貧困が広がっている。このような状況を改善するために更なる努力をしたい。

今年7月の参院選、11月の二宮選挙もあり、この勝利のために全力を尽くす。



根岸ゆき子
議員

教育福祉常任委員長
(ネット・市民) 緑が丘三二四一四

今年で2期目の最終年度を迎えます。必要とする人に福祉が行き届く町であって欲しいと切に願います。

福祉といっても幅広く、個々で違うケースへの対応も欠かせません。温かくて元気な二宮町のつながりを生かして、まちづくりに取り組みで参ります。



神保順子
議員

教育福祉常任委員
(ネット・市民) 富士が丘三二〇一三

任期満了まであと数か月となりました。これまで子育て支援・教育・福祉・環境政策等、調査・研究を重ねてさまざまな問題提起や提案を町へとしてきました。

町への働きかけを引き続き行い、町民の意志を反映していくけるよう精一杯頑張っていきます。



井上良光
議員

教育福祉常任委員
(無所属) 一色六六七

世界的な不況を引きずったまま新しい年を迎えることになってしまいました。

国はもとより地方自治体も厳しい財政運営を強いられる年になると推測される。町や住民にとって、それが大切な、優先順位をしっかりと見極め、町政に参画していく覚悟です。



松木義明
議員

総務建設経済常任委員
(無所属) 川匂一七三

早いもので本年11月は町長・町議の改選期になります。皆様から見た議員の活動はいかがだったでしょうか。私も付託に答える努力をしたつもりです。残された11ヶ月を全力疾走で町の課題に取り組みます。皆さまからのご要望をお寄せ下さい。本年も頑張ります。



西山宗一
議員

総務建設経済常任委員
(無所属) 山西五六二

与党、野党逆転、新政権が動いた。地方財政に大きな影響が出るのが必至。百年に一度と言われる不況。この時期だからこそ行政、議会、町民が町の将来像を見据え、スクラムを組んで頑張りたい。町民の声を真摯に受け止め、行政、議会改革に全力で取り組みたい。



三橋智子
議員

教育福祉常任副委員長
(公明党) 百倉が丘三二〇七四三

政権交代の熱風が吹き荒れてから5ヶ月が過ぎようとしています。しかし明確な政治力も感じられず、パフォーマンスばかりが報道され、国民は不安を隠しきれません。その閉塞感を断ち切るためにも、今二宮町に必要なのは何かを見極めて、全力でまちづくりを挑みます。



鳥海恭子
議員

教育福祉常任委員
(日本共産党) 二宮五〇三一九

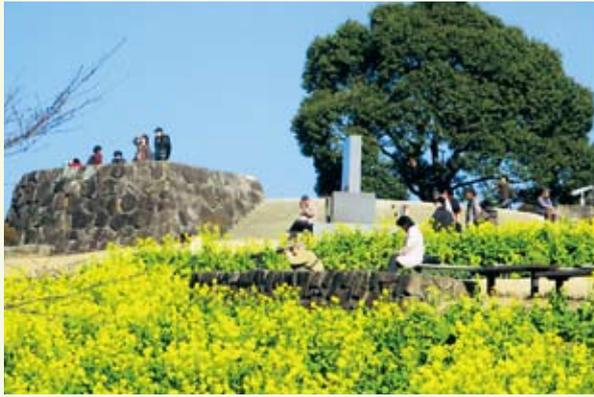
政権交代、事業仕分けによる扶養控除廃止の影響は23項目の負担増。国民健康保険料、後期高齢者医療、障害者自立支援費、保育料など庶民への負担増は町の財政にも、町民生活にとっても大影響である。二宮町の自然を活かす町政へと、町民と共に歩みたい。



原富士徳
議員

教育福祉常任委員
(無所属) 二宮四八八

25年後二宮町の人口は2万4464人、60歳以上の高齢者数は全体の44%を占める事が予想されています。農地・里山を生かした新産業の創造、相模湾沿岸9市4町に呼びかけ漁業資源の復活など為すべき事は山積している。「住んでよかった二宮」を目指します。



新年早々、菜の花とパノラマを楽しむ (1/6)

丹沢連峰の眺望も人気のひとつ



「新春のつどい」で楽しく演奏する
二宮ジョイフルハーモニカの皆さん

カメラ ルポ



新春の葛川で優雅にたたずむ白鷺



見事な出来栄えの正月飾りで笑顔满面

秦野市・中井町と広域連携を
深めるための議員交流会 (11/2)



編集室だより

閉会後に寒さが到来、
やっと冬らしくなってきた。
吾妻山山頂にいとCO2
25%削減はどこ吹く風か、
と感じられるほど二宮町は
穏やかだ。

12月議会は予算編成が煮
詰まってくる時期。9人の
議員が一般質問。機構改革
を見据えた条例改正も行わ
れた。

政権は交代したが、确实
に地球温暖化も財政難も地
方自治へ荒波として押し寄
せている。

議会だより委員はメン
バーが2人交代し、新委員
長となりました。実感伴う
紙面作りに励みます。3月
はケーブルテレビの試験放
送を予定。傍聴もお待ちし
てます。

- | | | | | | | |
|----|-----|----|----|------|-----|----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 副委員長 | 委員長 | 議長 |
| 三橋 | 根岸 | 松木 | 神保 | 城所 | 井上 | 良光 |
| 智子 | ゆき子 | 義明 | 順子 | 努 | | |
- 議会だより編集委員会